

令和4年度 事業報告書

特別養護老人ホーム櫻ホーム西神（定員 80名） 地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神（定員 20名）						
稼働状況	令和4年度		令和3年度		前年度対比	
	実績稼働率	特養	95.64%	特養	89.90%	特養 5.74%
		地域密着型	95.93%	地域密着型	93.63%	地域密着型 2.30%
	目標稼働率	特養	98.00%	特養	98.00%	特養 —
		地域密着型	98.00%	地域密着型	98.00%	地域密着型 —
差異	特養	-2.36%	特養	-8.10%	—	
	地域密着型	-2.07%	地域密着型	-4.37%		
平均要介護度	3.89		3.78		0.11	
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期5か年計画（4年目）の推進 ② 社会福祉施設としての専門的知識・技術を地域に還元する ③ サービスの質の向上への取組み ④ 福祉サービス第三者評価受審 ⑤ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 ⑥ 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加 ⑦ 人材養成の積極的展開 ⑧ 安定した事業運営への取組み 					
総括	<p>本年度の事業運営状況は、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；定員80名、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；20名、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率95.64%で前年度比5.74ポイントの増、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率95.93%で前年度比2.30ポイントの増、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度3.93で前年度比0.08ポイント増、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度3.84で前年度比0.31ポイント増、合算で平均要介護度3.89前年度比0.11%の増であるが予算達成はできなかった。</p> <p>また、本年度は、基本理念の周知徹底の取組みとして、「不適切な言葉かけ」をなくすように計画的に研修を行ってきたが、令和4年12月10日にユニット職員による入居者への虐待が疑われるケースが発生した。令和4年12月12日に事実確認し、法人本部へ連絡するとともに神戸市福祉局監査指導部へ通報を行った。緊急で令和4年12月12日に「人権擁護」に関する幹部会議を開催し、また、各ユニット会議で「高齢者虐待・不適切ケア」に通じる事象がないか再確認を行った。令和5年2月21日、22日、23日には、本事例をもとに高齢者虐待（不適切ケア）に関する研修を全職員対象に実施し、これまでの業務についてふりかえり、不適切ケアに対する「気づき」となった。また、当該職員については、本人の申出により、令和4年12月31日付で自己都合による退職となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 福祉サービス第三者評価受審 本年度は、第三者評価機関の(株)H.R.コーポレーションによる福祉サービス第三者評価を令和4年12月22日、24日に受審し、令和5年2月2日付で受審結果をWAMNETで公表した。受審結果については、法人基本理念の実現に向けての取組み、個別ケア・認知症ケア・ターミナルケアの充実についての多職種協働での取組み等について高く評価された。 ⑤ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 本年度も継続して、感染症予防委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染症対策について職員へ注意喚起し、感染予防に係る課題点に対する改善策の実施状況の検証を行うなど、感染予防に取り組んだが、入居者37名、職員22名が新型コロナウイルス陽性者となるクラスターが発生した。よって、次年度は日々の介護現場の感染症対策に関する課題点に対して、感染症予防委員会の牽制機能を更に強化するだけでなく、櫻ホーム西神診療所医師と連携し感染症予防の徹底を図らなければならない。 防災・防火意識の高揚については、職員一人一人の防火意識の高揚が図れるよう、年間計画に基づいた消防避難訓練を年2回、地区との合同消防避難訓練を年1回実施したほか、厨房が中心となり計画的に備蓄品も確保することができた。 次年度は、本年度策定された業務継続計画書に基づき、感染症発生時の対応については感染症予防委員会が中心となり、災害発生時の対応については幹部会が中心となって、研修及び訓練（シミュレーション）を実施したい。 ⑥ 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加 本年度は、新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加等の地域交流に制限があったが、年間計画に基づき施設内行事を通して入居者の生活に潤いが持てるよう取り組んだ。 次年度は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、感染予防を徹底したうえで地域及び関係機関が主催する行事等に積極的に参加し、地域との関係づくりに努めたい。 ⑦ 人材養成の積極的展開 本年度発生した不適切ケアが二度と起きないように、次年度は全職員を対象とする人権擁護に関する研修を実施することで職員の意識向上と課題の改善を図りサービスの質の向上を目指していただくだけでなく、定期的な幹部職員の現場巡回や家族等の第三者眼を多くすることで、第三者に見られているという意識を持たせる必要がある。また、課題のある職員に対しての個別指導を計画的、且つ、継続的に実施し改善を図ることで、基本理念に基づくサービスの徹底を図らなければならない。 					

令和4年度

事業報告書

特別養護老人ホーム櫻ホーム西神
地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第4期5か年計画（4年目）の推進
- ② 社会福祉施設としての専門的知識・技術を地域に還元する
- ③ サービスの質の向上への取組み
- ④ 福祉サービス第三者評価受審
- ⑤ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化
- ⑥ 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加
- ⑦ 人材養成の積極的展開
- ⑧ 安定した事業運営への取組み

本年度は、法人基本理念に基づき、以下の事業を取り組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

なお、本年度の事業運営状況は、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；定員80名、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；20名、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率95.44%で前年度比5.54ポイントの増、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率95.97%で前年度比2.34ポイントの増、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度3.93で前年度比0.08ポイント増、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度3.84で前年度比0.31ポイント増、合算で平均介護度3.91前年度比0.13%の増であり、予算を達成することができなかった。

また、本年度は、基本理念の周知徹底の取組みとして、「不適切な言葉かけ」をなくすように計画的に研修を行ってきたが、令和4年12月10日にユニット職員による入居者への虐待が疑われるケースが発生した。令和4年12月12日に事実確認し、法人本部へ連絡するとともに神戸市福祉局監査指導部へ通報を行った。緊急で令和4年12月12日に「人権擁護」に関する幹部会議を開催し、また、各ユニット会議で「高齢者虐待・不適切ケア」に通じる事象がないか再確認を行った。令和5年2月21日、22日、23日には、本事例をもとに高齢者虐待（不適切ケア）に関する研修を全職員対象に実施し、これまでの業務についてふりかえり、不適切ケアに対する「気づき」となった。また、当該職員については、本人の申し出により、令和4年12月31日付で自主退職となった。

1 第4期経営5か年計画（4年目）の推進

本年度は、第4期経営5か年計画の4年目として経営計画検証委員会において計画に対する実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度も引続き、第4期経営5か年計画の最終年度として「地域貢献への積極的展開」「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第4期経営5か年計画を積極的に推進していきたい。

特に、次年度が第4期経営5か年計画の最終年度であることから、法人の設置する経営計画策定委員会に参加し、第4期経営5か年計画の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定に取り組みたい。

2 社会福祉施設としての専門的知識・技術を地域に還元する

本年度は、定期開催された月が丘ふれあいのまちづくり協議会及び民生委員・児童委員の主催する定例会等に参加することにより、地域の福祉ニーズの把握に努めた。運営推進会議をデイサービスセンターさくらさくと協働し、概ね2か月に1回開催することで、地域の声を聞く貴重な意見交換の場となった。また、施設周辺を中心とした清掃活動を毎月継続して実施し、取り組んだ活動を運営推進会議等で報告を行った。新型コロナウイルスの影響もあり、多目的ホールを活用した地域の勉強会は1回のみで開催となり、地域に根差した活動が十分に行えなかった。

広報誌「櫻さくら通信」については、年2回発行し、介護保険制度や施設情報等を掲載し発信することができた。

次年度は、地域に根差した福祉施設としての役割や目的を再整理したうえで、地域ニーズに対応した地域貢献事業に取り組んでいく。

3 サービスの質の向上への取組み

本年度は、サービスの標準化を図るために、ユニットリーダーが中心となりマニュアルの見直し、更新することができた。マニュアルの共有化と周知徹底については、主任・副主任介護員、ユニットリーダーが中心となりユニットごとにチェックを行った。

次年度は、ユニットリーダー以外に各委員会・各部門会議等においてもマニュアルに基づくサービス提供ができて
いるかの検証を行い、施設全体でサービスの標準化を図れるように取り組んでいく。

2) 接遇の向上

本年度は、高齢者虐待・身体拘束廃止委員会を中心に、不適切なケアがないかのアンケートを実施し、各種会議で
改善策の検討を行った。丁寧な言葉かけができていない職員に対しては、各部門責任者による面談を実施し、個別指
導を行った。

次年度も継続して、課題のある職員に対しては個別指導により丁寧な言葉かけを徹底して指導していく。

3) ノーリフトケア（抱え上げない介護）の質の向上への取り組み

本年度は、機能訓練指導員と介護サービス委員会が中心となり、ノーリフトケアの意義目的についてマニュアルを
整理し、介護現場に反映させることでノーリフトケアの質の向上に努めたほか、実際に対応が困難な事例を検討し、
職員への研修を実施したことで、介護の基本を再認識し、ノーリフトケアに反映させることが出来た。

次年度は、マニュアルを活用し、入居者個々のデータを収集し、自立支援に向けた効率・効果的なノーリフトケア
の実践に取り組んでいく。

4) 排泄支援の充実

本年度は、介護サービス委員会が中心となり、個々の排泄パターンをつかむためのデータを収集し、本人にあった
おむつの使用方法を検討・対応することができた。

次年度は、更にデータを収集し、入居者個々の自立支援に向けた支援計画を作成し、排泄ケアが行えるようにして
いく。

5) 口腔衛生管理の充実

本年度は、介護サービス委員会が中心となり、歯科医師、又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士による口腔ケア
に係る技術的助言及び指導を月1回以上受け、口腔ケア・マネジメントに係る計画を作成し、計画に基づく口腔ケア
を実施することができた。また、口腔ケアが困難であると診断された入居者については、歯科衛生士による専門的な
口腔ケアを実施した。

次年度は、引き続き入居者個々の自立支援に向けた効率・効果的な口腔ケアの実践に取り組んでいく。

6) 介護ソフトほのぼののシステムの効果的活用

本年度は、ほのぼののシステムの効果的活用について、日々の記録の重要性を幹部会議・ユニットリーダー会議等で
話し合い、検討することで情報の一元化を努めることができた。

次年度は、各部署等との情報共有を図り、入力する内容の標準化及びシステムの効果的活用に努めていきたい。

7) 介護事故に対する安全管理体制の強化

本年度も事故・リスクマネジメント委員会において、事故・発生状況等を分析し、具体的な課題及び改善策につい
てミーティングを活用し、周知徹底を図った。特に介護事故に対する気づきを持つことで、ヒヤリハット報告書が増
加し、その内容を全部署で共有することで重大事故に繋がる事故等を未然に防ぐことが出来た。

次年度も事故・リスクマネジメント委員会が中心となり、マニュアルに沿ったサービスが提供できるように取り組
んでいく。

8) 苦情への迅速な対応と苦情の予防

本年度も、入居者及び入居者家族からの苦情予防のため、希望や要望に応えられる仕組みとして、新型コロナウイルス
の蔓延状況を勘案し家族会をリモートで行い家族との意見交換を実施することで、その内容をサービスに反映
させるように努めた。

次年度は、苦情の予防だけではなく、入居者・家族の希望や要望に応えることで個別性の高いサービスの提供に
努める。

9) 入居者・家族の関係性維持の取り組み

本年度は、生活相談員が中心に相談窓口となり、各部署からの情報をもとに、家族と連携することができた。新型
コロナウイルスの影響により、対面での面会が困難となったが、リモート面会を活用することで面会の機会を確保
することができた。

次年度は、可能な限り入居者と家族が対面での面会を行うことで、入居者・家族がより良い関係性が維持できるよ
うに取り組むたい。

10) 地域との関係性維持の取り組み

本年度は、新型コロナウイルスの影響により、年間6回開催予定していた運営推進会議は、4回の開催となった
が、地域との連携を目的に意見交換を行い、吸い上げられた意見・要望等を各種会議で共有し、改善策を検討するこ
とができた。また、施設の情報や介護保険制度等についても月が丘定例会議・認知症カフェ・地域包括支援センター
主催の研修等で発信し、周知を図ることができた。

次年度は、新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、感染予防を徹底したうえで運営推進会等を通じ、地域の方か
らの意見を吸い上げ、改善策を検討することでサービスへ反映できるように努める。

11) 利用者満足度調査の実施

本年度は、入居者及び家族に対して満足度調査を実施し、入居者及び家族のニーズの把握に努めたものの、具体
的な取り組みまで至らなかった。

次年度も満足度調査を実施し、各部署間で改善策を協議し、入居者及び家族のニーズに応じたサービスが提供で
きるように努める。

12) 美味しく安全な食事の提供

本年度は、積極的にミールラウンドを行い、入居者の摂取状況・口腔機能・嚥下機能について評価を行った。また、
嗜好調査を行うことで入居者の意向に沿った献立作成にも取り組むことができた。

次年度も積極的にミールラウンドや嗜好調査を実施することで入居者のニーズに応じた楽しみのある食事が提供
できるように努める。

4 福祉サービス第三者評価受審

本年度は、令和4年12月22日、24日に第三者評価機関の(株)H.R.コーポレーションによる福祉サービス第三者評価を受審し、令和5年2月2日付で受審結果をWAMNETで公表した。

受審結果については、法人基本理念の実現に向けての取組み、個別ケア・認知症ケア・ターミナルケアの充実についての多職種協働での取組み等について高く評価され、課題点については特に無かったが、評価基準をもとに継続的にサービス自己評価を実施することで更なるサービスの向上に取り組まれることが望まれるといった内容であった。

次年度も継続して、サービス評価委員会が中心となり、評価基準をもとにしたサービス自己評価の実施及び課題に対する改善策の実施に加え、改善策の実施状況を検証することでPDCAサイクルを確立し、入居者の視点に立ったサービスの質の向上に努めていく。

5 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

本年度も継続して、感染症予防委員会が中心となり、新型コロナウイルス対策について職員へ注意喚起し、感染予防に係る課題点を各現場にフィードバックし、改善策の実施状況の検証を行うなど、感染予防に取り組んだほか、令和4年6月13日に感染予防に関する全体研修を実施し、感染予防対策の周知徹底を図ったが、【感染拡大期間：令和4年8月13日～8月29日、陽性者：入居者10名・職員9名】、【感染拡大期間：令和4年11月21日～12月5日、陽性者：入居者7名・職員5名】、【感染拡大期間：令和4年12月27日～令和5年1月25日、陽性者：入居者20名・職員8名】3回合計：入居者37名、職員22名が新型コロナウイルス陽性者となるクラスターが発生した。次年度は、日々の介護現場の感染症対策に関する課題点に注視し、感染症予防委員会の牽制機能を更に強化することで、櫻ホーム西神診療所医師とも連携し、感染症予防の徹底を図る。

防災・防火意識の高揚については、入居者の生命の安全を守るということを第一とし、職員一人一人の防火意識の高揚が図れるよう、年間計画に基づいた消防避難訓練を年2回、地区との合同消防避難訓練を年1回実施した。また、厨房が中心となり計画的に備蓄品を確保することができた。次年度も消防避難訓練及び災害等発生時対応訓練についても年間計画に基づいた訓練の実施を徹底する。防災訓練に加え事業継続計画に基づく安否確認訓練など、常に非常時を想定した訓練を実施し、本年度策定された業務継続計画書に基づき、感染症発生時の対応については感染症予防委員会が中心となり、災害発生時の対応については幹部会が中心となって、研修及び訓練(シミュレーション)を実施していきたい。

【令和4年度災害訓練実施表】

年月日	訓練内容
令和04年 6月 23日	消防・避難訓練(日勤帯想定)
令和04年 10月 16日	地区との非常災害時合同訓練
令和05年 01月 17日	非常災害時事業継続対応訓練(地震)
令和0 2月 16日	消防・避難訓練(夜間想定)

6 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加

本年度は、新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加等の地域交流には限りがあったが、年間計画に基づき以下の施設内行事を通して入居者の生活に潤いが持てるよう取り組んだ。

次年度は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、感染予防を徹底したうえで地域及び関係機関が主催する行事等に入居者が積極的に参加し、地域との関係づくりに努める。

① 月が丘地域行事

年月日	行事名
令和4年 05月 22日	寄せ植え
6月 05日	ふれあい文化祭
10月 30日	寄せ植え、スマイルコンサート バザー

② 施設行事

年月	行事名	年月	行事名
令和4年 09月 25日	敬老祝賀会(法人合同行事)	令和5年 01月 04日	新年祝賀会、初詣(全館合同行事)

※全館合同行事はデイサービスセンターさくらさくと合同で企画・開催する

7 人材養成の積極的展開

1) 基本理念の周知徹底とサービスへの反映

本年度は、基本理念の周知徹底の取組みとして、「不適切な言葉かけ」をなくすように計画的に研修を行ってきたが、令和4年12月10日にユニット職員による入居者への虐待が疑われるケースが発生した。

次年度は、本事例のようなことが二度と起きないように、全職員を対象とする人権擁護に関する研修を実施することで職員の意識向上と課題の改善を図りサービスの質の向上を目指してだけでなく、定期的な幹部職員の現場巡回や家族等の第三者眼を多くすることで、第三者に見られているという意識を持たせる必要がある。また、課題のある職員に対しての個別指導を計画的、且つ、継続的に実施し改善を図ることで、基本理念に基づくサービスの徹底を図らなければならない。

2) チューター制の効果的運用

本年度は、毎月チューター会議を開催し、チューター制を活用した職員育成に取り組んだ結果、法人基本理念に基づく介護の基礎を習得することができた。新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解度については課題があるため、次年度も施設長をはじめとした全職員がチューターに関わることにより、チューター制に対する理解を深め、効果的な運用に努める。

3) 施設内研修

本年度もユニットリーダー会議が主体となり、年間研修カリキュラムに基づき、確実に施設内研修会を実施した。研修終了時には感想レポートを提出することで、講義に対する意識を高めさせるとともに理解度の確認を行った。

また、研修の振り返り及び理解度の確認、現場での実践を検証するため、職員研修内で振り返りを行い、職員への意識付けを図り、より効果的な研修の実施に努めた。しかし、新型コロナウイルスの蔓延により参加できていない職員に対するフィードバックに課題が残った。

次年度はユニットリーダー・研修を担当した委員会が資料を配布するだけでなく、研修内容がどのようにサービスに反映されているかを検証していく。

受講日	研修名
令和4年 4月12日	事業計画説明会（理念研修）
5月19日、24日、31日	排泄ケアに関する研修
6月13日	感染症予防研修（シミュレーション）
7月11日	ノーリフト研修
8月31日	事故・リスクマネジメント研修（危険予知）
9月21日、27日、30日	身体拘束・高齢者虐待防止研修
10月10日	感染症予防研修（食中毒）
10月26日	看取り研修
11月15日	口腔ケア研修（歯科医師による）
令和5年 2月21日、22日、25日	高齢者虐待防止研修（不適切ケア）
3月6日、13日、15日	排泄ケアに関する研修（王子ネピア）

4) 施設外研修

本年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、リモートを活用した各種団体が主催する研修会へ参加した。

次年度も継続して、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、リモートを活用した施設外研修等に計画的に参加し、職員研修及びケアスタッフ会等において、受講者が研修で学んだ内容を伝達する場をタイムリーに設け、研修内容を介護現場に反映させることでサービスの向上につなげる。

受講日	研修名	受講人数
令和4年 6月24日	ユニットリーダー研修	1名
8月25日	第1回神戸市認知症介護実践者研修	1名
6月24日	ユニットリーダー研修	1名
10月14日	兵庫県認知症実践リーダー研修	1名
10月20日	第2回神戸市認知症介護実践者研修	1名
11月17日	ノーリフトケアコーディネーター養成講座アドバンス	1名
12月7日、9日	神戸市認定調査員新規研修	1名
12月8日、9日	ユニットリーダー研修	1名
令和5年 12月15日、16日	ユニットリーダー研修	1名

5) 人事考課制度の効果的運用

人事考課制度により、職員個々における自己評価及び指導者との育成面接などを通じて職員として就業にかかる目的の明確化を図るとともに、適切な評価、指導を通じて人材育成及び信頼関係の構築に努めた。

しかし、年間計画に基づく人事考課制度の見直しや考課者の考課基準の統一については課題が窺え、効果的な運用に繋げることが出来なかった。次年度は、年間計画に基づく人事考課制度の見直し及び考課者の考課基準の統一に取り組む。

6) 認知症介護基礎研修の受講の義務付け

本年度は、当施設での対象者はいなかった。次年度は、認知症対応力を向上させるために医療・福祉の資格を有さない職員には、認知症介護基礎研修を受講させる。

7) 喀痰吸引研修の受講と実践

本年度は、桜谷荘喀痰吸引等事業のもと喀痰吸引研修を10名が受講し、修了することができた。次年度は、たん吸引が必要な方等に、研修で学んだ内容を入居者に還元できるように取り組む。

8 安定した事業運営への取組み

1) 平均ベッド稼働率98.0%の確保

本年度は、年間ベッド稼働率98.00%の達成を目指し入居調整を進めてきたが、入居計画に基づく入居調整やタイムリーな事前面談の調整が不十分であったために、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；定員80名、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；20名に対して、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神の年間稼働率が95.44%、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神の年間稼働率95.97%で、平均要介護度3.89（ユニット型特養3.93、地域密着型特養3.84）で予算達成することができなかった。また、ショートステイ（空床利用）の受入れについても居宅介護支援事業所等へのアプローチ不足により本年度の延べ利用日数は50日に留まった。よって、次年度は、経営会議、施設長会議等で決定した戦略（ユニットへ生活保護受給者受入、空床ショートの受入れ、PR活動の強化）の実践に加え、幹部会議、入居検討委員会及び日々のミーティングにおいて具体的なアプローチ方法の検討・実施を確実に行わなければならない。また、課題であるタイムリーな事前面談の調整についても担当者の意識改革を図り、迅速に事前面談日及び入居日を確定させる必要がある。また、入院によるベッド稼働率の低下を防ぐためにも入居者の状態観察を強化し、異常の早期発見により医師との連携のもと適切な処置を行う事で、症状の悪化を最小限にとどめていくほか、体調不良者が出やすい時期を予測してのベッド管理を行う。

更に、次年度は櫻ホーム西神診療所主治医と連携して、日々の状態観察を行い異常の早期発見、早期治療に努めることで、入院によるベッド稼働率の低下を防ぎ、予算達成を目指したい。

2) サービスの質が高く効率的な介護の提供体制を整備し、適正な加算の取得

サービスの質が高く効率的な介護の提供を行うことで適正な加算取得に結びつけていくために、加算要件に準ずる介護が提供できているかどうかについての裏付け資料を作成し、介護保険請求復命時及びコンプライアンス委員会において加算要件を満たしているかどうかを検証したことで、質が高く効率的な介護の提供体制が整備され適正に **LIFE** を含む加算を取得することができた。次年度は、コンプライアンス委員会において更なる算定可能な個別加算について加算取得計画を立案し、計画に基づく加算取得に取り組む。

令和4年度 事業報告書

認知症対応型デイサービスセンターさくらさく（定員 12名）				
稼働状況		令和4年度	令和3年度	前年度対比
	実績稼働率	77.42%	75.99%	1.43%
	目標稼働率	70.00%	70.00%	—
	差異	7.42%	5.99%	—
	平均要介護度	2.0	2.52	-0.52
重点項目	① 第4期経営5か年計画（4年目）の推進 ② 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に還元する ③ 認知症カフェの実施 ④ 運営推進会議の効果的運用 ⑤ 認知症介護の専門性の確立及びサービスの質の向上の取組み ⑥ 福祉サービス第三者評価受審 ⑦ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 ⑧ 身体拘束等の適正化 ⑨ 人材養成の積極的展開 ⑩ 顧客確保への積極的取組み			
総括	<p>本年度の事業運営状況は、定員12名、年間平均利用率77.42%で、1.43%の増、平均介護度2であり、0.52ポイントの減であったが、予算達成はできた。</p> <p>② 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に還元する 本年度は、定期開催された月が丘ふれあいのまちづくり協議会及び民生・児童委員の主催する定例会、認知症高齢者声掛け訓練などに参加することにより、地域の福祉ニーズの把握に努めたほか、施設周辺を中心とした清掃活動を毎月継続して実施した。また、広報誌「櫻さくら通信」を年2回発行した。 次年度は、「櫻さくら通信」の年2回の発行、地域への確実な配布と、さらに地域との関わりを持つことにより、地域ニーズを的確に把握し、事業所として専門的知識・技術を地域に還元できるよう努める。</p> <p>③ 認知症カフェの実施 地域貢献事業の一環として、認知症の人やその家族、地域の人等、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として、認知症の人やその家族が、在宅や地域で安心して生活できるように支援していくことを目的とした認知症カフェを実施し、参加者は年間97名であった。次年度は、本年度のヒアリングから得られたニーズに応じたプログラムを提供し、地域に開かれた認知症カフェを開催していきたい。</p> <p>⑤ 認知症介護の専門性の確立及びサービスの質の向上の取組み 1) 認知症介護の専門性の確立 兵庫県4DAS（認知症機能訓練システム）の研修等は本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により開催が停滞したが、2月19日には職員2名が兵庫県4DAS基礎研修を受講修了した。 次年度は職員の認知症介護実践者研修の受講や、兵庫県4DAS（認知症機能訓練システム）の研修などに積極的に参加し、更に専門性の高い認知症介護が実施できるよう努める。</p> <p>2) 「利用しやすいデイサービス」に向けた体制整備 本年度は利用者の認知症状の状態に応じて、個別に対応したプログラムを提供し、本人や家族、ケアマネジャーからも高評価を得ることができた。 次年度は認知症の進行予防や改善が期待できるプログラムを中心とした個別対応を確実に提供できる体制にしていく。</p> <p>⑥ 福祉サービス第三者評価受審 本年度は、令和4年12月23日、25日に第三者評価機関の(株)H.R.コーポレーションによる福祉サービス第三者評価を受審し、令和5年2月1日付で受審結果をWAMNETで公表した。 受審結果については、法人基本理念の実現に向けての取組み、個別ケア・認知症ケアの充実、自立支援への取組み等について高く評価され、課題点については、大きな課題はなかったが書式の工夫など提案された。また、評価基準をもとに更なる質の向上に向け取組まれることが望まれるといった内容であった。 次年度も継続して、サービス評価委員会が中心となり、評価基準をもとにしたサービス自己評価の実施及び課題に対する改善策の実施に加え、改善策の実施状況を検証することでPDCAサイクルを確立し、入居者の視点に立ったサービスの質の向上に努めていく。</p> <p>⑩ 顧客確保への積極的取組み 本年度も引続き居宅会議支援事業所等への周知活動や、利用者や家族、ケアマネジャーとの信頼関係の構築に努めた結果、新規利用者を含めた紹介件数の増加につながり、予算稼働率70.00%に対して77.42%と予算を達成することができた。 次年度も継続して、予算稼働率を職員全員が意識をした上で、接遇やサービス面の向上に取組み、利用者や家族、ケアマネジャーとの信頼関係の強化を図ると共に、体験利用の積極的受け入れや、営業ツールや営業戦略の見直しを行うことで、予算稼働率を達成できるように努める。</p>			

事業報告書

認知症対応型デイサービスセンターさくらさく

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第4期経営5か年計画（4年目）の推進
- ② 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に還元する
- ③ 認知症カフェの実施
- ④ 運営推進会議の効果的運用
- ⑤ 認知症介護の専門性の確立及びサービスの質の向上の取組み
- ⑥ 福祉サービス第三者評価受審
- ⑦ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化
- ⑧ 身体拘束等の適正化
- ⑨ 人材養成の積極的展開
- ⑩ 顧客確保への積極的取組み

本年度は、法人基本理念に基づき、第4期経営5か年計画の4年目として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

なお、本年度の事業運営状況は、定員12名、年間平均利用率77.42%で、1.43%の増、平均介護度2.0であり、0.52ポイントの減であったが、予算達成ができた。

1 第4期経営5か年計画（4年目）の推進

本年度は、第4期経営5か年計画の4年目として経営計画検証委員会において計画に対する実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度も引続き、第4期経営5か年計画の最終年度として「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第4期経営5か年計画を積極的に推進していきたい。

特に、次年度が第4期経営5か年計画の最終年度であることから、法人の設置する経営計画策定委員会に参画し、第4期経営5か年計画の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定に取り組みたい。

2 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に還元する

本年度は、定期開催された月が丘ふれあいのまちづくり協議会及び民生委員・児童委員の主催する定例会、認知症高齢者声掛け訓練などに参加することにより、地域の福祉ニーズの把握に努めたほか、施設周辺を中心とした清掃活動を毎月継続して実施した。

また、広報誌「櫻さくら通信」を年2回発行し、介護保険制度や事業所情報等を掲載することはできた。

次年度は、「櫻さくら通信」の年2回の発行、地域への確実な配布と、さらに地域との関わりを持つことにより、地域ニーズを的確に把握し、事業所として専門的知識・技術を地域に還元できるよう努める。

3 認知症カフェの実施

地域貢献事業の一環として、認知症の人やその家族、地域の人等、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として、認知症の人やその家族が、在宅や地域で安心して生活できるように支援していくことを目的とした認知症カフェを実施し、年間97名の参加状況であった。

次年度は、本年度行ったヒアリングから得られたニーズに応じたプログラムを提供し、地域に開かれた認知症カフェを開催していきたい。

令和4年04月22日	理学療法士による筋力測定	16名
5月20日	言語聴覚士によるミニ講座	26名
6月17日	栄養士によるミニ講座	09名
7月15日	看護師によるミニ講座	08名
10月21日	医師による地域で支える認知症	13名
11月18日	さくらcaféのレクササイズ	11名
令和5年02月17日	頭の体操で認知症予防	06名
3月17日	ノーリフ0トケアについて	08名

4 運営推進会議の効果的運用

年間6回開催予定していた運営推進会議は、実績4回の開催となったが、地域との連携を目的に意見交換を行い、

吸い上げられた意見・要望等を各種会議で共有し、改善策を検討することができた。また、施設の情報や介護保険制度等についても月が丘定例会議・認知症カフェ・地域包括支援センター主催の研修等で発信し、周知を図ることができた。

次年度も継続して、計画的に運営推進会議を開催することで適正な事業運営に努める。

5 認知症介護の専門性の確立及びサービスの質の向上の取組み

1) 認知症介護の専門性の確立

兵庫県4DAS（認知症機能訓練システム）の研修等は本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により開催が遅延したが、令和5年2月19日には職員2名が兵庫県4DAS基礎研修を受講修了することができたことで、認知症ケアに必要な評価と認知症の方への機能訓練の考え方やケアの実践方法について見直し、実践することができた。

次年度は職員の認知症介護実践者研修の受講や、兵庫県4DAS（認知症機能訓練システム）の研修などに積極的に参加していき、更に専門性の高い認知症介護が実施できるよう努める。

2) 「利用しやすいデイサービス」に向けた体制整備

本年度は利用者の認知症状の状態に応じて、個別に対応したプログラムを提供し、本人や家族、ケアマネジャーからも概ね高評価をいただいた。中核症状や周辺症状に合わせた個別対応を中心とするサービスは居宅介護支援事業所等からの信頼も厚く、困難ケースや他のデイサービスの受け入れが難しくなった利用者の受け入れ先として機能できたが、次年度は認知症の進行予防や改善が期待できるプログラムを中心とした個別対応を確実に提供できる体制にしていきたい。

また、希望者への夕食の提供については、近隣に夕食を提供するデイサービスが少なく、デイサービス利用後の介護者支援にもつながると利用者家族や居宅介護支援事業所からも期待されているため、次年度も継続して夕食を提供していく。

3) 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る

利用者・家族からの相談・苦情に対して、連絡帳や申し送りなどで職員全員が確実に情報共有することで、苦情予防に繋げ、本年度の苦情はなかった。次年度も引き続き、施設内に苦情受付窓口、担当者を配置し、苦情解決責任者・第三者委員を通じて、原因の究明と改善対応策の検討を迅速に行う体制をとり、事故リスクマネジメント委員会、デイサービス会議でサービスの改善と全職員への周知徹底を図っていく。

4) 家族支援の充実

家族会を第1回（令和4年7月15日）、第2回（令和5年3月17日）と開催し、デイリープログラムや行事等の取組み、利用者の様子などをプロジェクターを活用して説明したほか、家族も一緒にプログラムに参加していただいたことで家族から高い評価が得られた。

次年度も、介護者の悩みや情報共有・精神的負担軽減を目的として、年2回の家族会を計画的に開催する。

5) 介護ソフトほのぼのシステムの効果的活用

日々の記録の重要性についてデイサービス会議を活用して理解を深め、各種記録を確実に入力し、情報の共有化に努めた。また、介護ソフトほのぼのシステムの掲示板機能を活用し、各部署等との情報共有及び可視化を図ったことで、サービスの質の向上や各部署との連携強化、情報の伝達ミスを防ぐことができた。

次年度も、引き続きシステムを効果的に活用していくことで情報の共有化や各部署との連携強化に努めていく。

6) 介護事故に対する安全管理体制の強化

利用者に対する安心・安全を確保するために安全対策担当者を選任し、事故・リスクマネジメント委員会において、ヒヤリハット事例から介護事故発生原因の究明及び再発防止のための対策を検討した結果、介護事故の発生を防止できた。

次年度も事故・リスクマネジメント委員会が中心となり、リスクマネジメントを徹底し安全なサービスが提供できるように取り組んでいく。

7) 行事企画及び専門的対応

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、年間計画に基づき以下の事業所内行事を通して社会的交流の支援、趣味・嗜好の充足及び心身の機能回復・減退防止を図り、季節行事等を取入れるとともに、利用者相互・利用者と職員の信頼関係・ふれあいを構築する独自のメニューに取組んだ。

次年度はボランティアなどの積極的な導入により、多様な個別嗜好の充足を図るとともに、行事運営の一層の充実を図りたい。

《令和4年度行事実施表》

実施日	行事	実施日	行事
令和4年04月15日	お茶会	10月21日	ハロウィン
5月10日	母の日会、ガーデニング	11月22日	音楽会
6月10日	父の日会	12月24日	クリスマス会
7月07日	七夕まつり、かき氷	令和5年01月10日	書初め
8月12日	ミニ夏祭り	2月03日	節分会
9月23日	敬老祝賀会	3月03日	ひな祭り会

6 福祉サービス第三者評価受審

本年度は、令和4年12月23日、25日に第三者評価機関の(株)H.R.コーポレーションによる福祉サービス第三者評価を受審し、令和5年2月1日付で受審結果をWAMNETで公表した。

受審結果については、法人基本理念の実現に向けての取組み、個別ケア・認知症ケアの充実、自立支援への取組み等について高く評価され、課題点については、大きな課題はなかったが、書式の工夫などを提案された。また、評価基準をもとに更なる質の向上に向け取組まれることが望まれるといった内容であった。

次年度も継続して、サービス評価委員会が中心となり、評価基準をもとにしたサービス自己評価の実施及び課題に対

する改善策の実施に加え、改善策の実施状況を検証することで PDCA サイクルを確立し、利用者の視点に立ったサービスの質の向上に努める。

7 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

本年度も継続して、感染症予防委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染症対策について職員への注意喚起、感染予防に係る課題点を各現場にフィードバックし改善策の実施状況の検証を行うなど、感染予防に取り組んだ結果、感染症の発生はなかった。

次年度も継続して、日々の介護現場の感染症対策に関する課題点に注視し、感染症予防委員会の牽制機能を更に強化することで、感染症予防の徹底を図らなければならない。

防災・防火意識の高揚については、利用者の生命の安全を守るということを第一とし、職員一人一人の防火意識の高揚が図れるよう、年間計画に基づいた消防避難訓練を年 2 回、地区との合同消防避難訓練を年 1 回実施した。

次年度も消防避難訓練及び災害等発生時対応訓練についても年間計画に基づいた訓練の実施を徹底する。防災訓練に加え事業継続計画に基づく安否確認訓練など、常に非常時を想定した訓練を実施し、本年度策定された業務継続計画書に基づき、感染症発生時の対応については感染症予防委員会が中心となり、災害発生時の対応については幹部会が中心となって、研修及び訓練（シミュレーション）を実施していきたい。

【令和 4 年度災害訓練計画実施表】

実施日	訓練内容
令和 4 年 06 月 23 日	消防・避難訓練（日勤帯想定）
令和 4 年 10 月 16 日	地区との非常災害時合同訓練
令和 5 年 01 月 17 日	非常災害時事業継続対応訓練（地震）
令和 5 年 02 月 16 日	消防・避難訓練（夜間想定）

8 身体拘束等の適正化

本年度も高齢者虐待・身体拘束廃止委員会を中心となり、身体拘束・高齢者虐待に対する意識付けの調査を実施し、身体拘束・高齢者虐待になり得る様々なテーマについて、職員全員で討議・実践し、実施状況を改善していくための研修を行った。

次年度も引き続き人権侵害防止委員会やデイサービス会議にて身体拘束等の適正化のための研修を企画・実施し、職員への周知及び意識づけを徹底する。

次年度も引き続き、利用者・家族とともに身体拘束等についての捉え方を考え、利用者の人権の擁護と安全、且つ、安心した生活ができるように努める。

9 人材養成の積極的展開

1) 基本理念の周知徹底とサービスへの反映

本年度は、基本理念の周知徹底の取組みとして、「不適切な言葉かけ」をなくすように計画的に研修を行った。

次年度も継続して、丁寧語による言葉かけの徹底及び接遇力の向上を図ることで基本理念に基づくサービスの徹底に取り組んでいく。

2) チューター制の効果的運用

本年度は、毎月チューター会議を開催し、チューター制を活用した職員育成に取り組んだ結果、法人基本理念に基づく介護の基礎を習得することができた。新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解度については課題が伺えたため、次年度も施設長をはじめとした全職員がチューター会議を行なうことにより、チューター制に対する理解を深め、効果的な運用に努める。

3) 事業所内研修

本年度も年間研修カリキュラムに基づき確実に施設内研修会を実施し、研修終了時には感想レポートを提出することで、講義に対する意識を高めさせるとともに理解度の確認を行った。

また、研修の振り返り及び理解度の確認、現場での実践を検証するため、職員研修内で振り返りを行い、職員への意識付けを図り、より効果的な研修の実施に努めた。しかし、参加できていない職員に対するフィードバックに課題があったため、次年度は研修を担当した委員会が資料を配布するだけでなく、研修内容がどのようにサービスに反映されているかを検証していく。

年月日	研修名
令和 4 年 4 月 12 日	事業計画説明会（理念研修）
5 月 19 日、24 日、31 日	排泄ケアに関する研修
6 月 13 日	感染症予防研修（シミュレーション）
7 月 11 日	ノーリフト研修
9 月 21 日、27 日、30 日	身体拘束・虐待防止研修
10 月 10 日	感染症予防研修（食中毒）
10 月 26 日	看取り研修
11 月 15 日	口腔ケア研修（歯科医師による）
令和 5 年 2 月 21 日、22 日、25 日	高齢者虐待防止研修（不適切ケア）
3 月 6 日、13 日、15 日	排泄ケアに関する研修（王子ネピア）

4) 事業所外研修

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートを活用した各種団体が主催する研修会へ参加した。

次年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、リモートを活用した施設外研修等に計画的に参加し、職員研修及びケアスタッフ会等において、受講者が研修で学んだ内容を伝達する場をタイムリーに設け、研修内

容を介護現場に反映させることでサービスの向上につなげていく。

受講日	研修名	受講者数
令和4年4月1日～令和5年3月31日	社会福祉主事資格認定通信課程	1名
令和5年2月19日	兵庫県4DAS基礎研修	2名

5) 人事考課制度の効果的運用

人事考課制度により、職員個々における自己評価及び指導者との育成面接などを通じて職員として就業にかかる目的の明確化を図るとともに、適切な評価、指導を通じて人材育成及び信頼関係の構築に努めた。

しかし、年間計画に基づく人事考課制度の見直しや考課者の考課基準の統一については課題が伺え、効果的な運用に繋げることが出来なかった。次年度は、年間計画に基づく人事考課制度の見直し及び考課者の考課基準の統一に取り組む。

6) 認知症介護基礎研修の受講の義務付け

本年度の受講対象者はいなかったが、次年度も引続き、認知症対応力を向上させるために医療・福祉の資格を有さない職員については、認知症介護基礎研修を受講させる。

10 顧客確保への積極的取組み

1) 平均利用率70%の確保

本年度も引き続き居宅会議支援事業所等への周知活動や、利用者や家族、ケアマネジャーとの信頼関係の構築に努めた結果、新規利用者を含めた紹介件数の増加につながり、稼働率が上昇した。

予算稼働率70.00%に対して77.42%と予算達成することができた。

次年度も継続して、予算稼働率を職員全員が意識をした上で、待遇やサービス面の向上に取組み、利用者や家族、ケアマネジャーとの信頼関係の強化を図ると共に、体験利用の積極的受け入れや、営業ツールや営業戦略の見直しを行うことで、予算稼働率を達成できるように努める。

2) 居宅介護支援事業所との連携強化

本年度も毎月定期的な居宅介護支援事業所への訪問や、電話やFAXなどによるこまめな報告や情報共有、担当者会議や地域包括センター主催の研修等の参加などで、ケアマネジャーとの信頼関係を継続することができた。

次年度も継続し、適正に情報等を共有することでサービスの質を向上させ、新規利用者の紹介に繋げていく。

令和4年度

行 事 実 施 状 況

1 施設内行事

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
令和			
4.	4.	傘寿のお祝い	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 4名参加）
	15	誕生日会	ダリア・サザンカユニット行事（入居者20名 職員 7名参加）
	21	おやつレクリエーション	アジサイユニット行事（入居者 9名 職員 3名参加）
5.	7	母の日	バラユニット行事（入居者 9名 職員 2名参加）
	12	セレクトランチ	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 4名参加）
	23	誕生日会	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 5名参加）
	24	誕生日会(母の日)	アジサイユニット行事（入居者 8名 職員3名）
	27	誕生日会	サクラユニット行事（入居者19名 職員 4名参加）
	29	母の日	モモユニット行事（入居者 5名 職員 3名参加）
6.	11	食事レクリエーション	アジサイユニット行事（入居者10名 職員 2名参加）
	18	誕生日会	バラユニット行事（入居者10名 職員 2名参加）
	20	父の日	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 4名参加）
	26	誕生日会&父の日	モモユニット行事（入居者 4名 職員 2名参加）
	30	誕生日会	サクラユニット行事(入居者20名 職員 4名)
7.	23	誕生日会	モモユニット行事（入居者 8名 職員 3名参加）
	24	誕生日会	ウメユニット行事（入居者 8名 職員 4名参加）
	25	誕生日会	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 3名参加）
8.	26	誕生日会	ダリアユニット行事（入居者 9名 職員 1名参加）
	26	誕生日会	サザンカユニット行事(入居者10名 職員 4名参加)
9.	6	誕生日会	バラユニット行事（入居者10名 職員 3名参加）
	6	誕生日会	アジサイユニット行事（入居者10名 職員 2名参加）
	29	誕生日会	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 3名参加）
10.	18	誕生日会	アジサイユニット行事（入居者 8名 職員 2名参加）
	23	誕生日会(兼ハロウィン)	モモユニット行事（入居者 9名 職員 3名参加）
	28	誕生日会(兼ハロウィン)	ダリアユニット行事（入居者10名 職員 3名参加）
	28	誕生日会(兼ハロウィン)	サザンカユニット行事(入居者10名 職員 5名参加)
	30	誕生日会	サクラユニット行事（入居者19名 職員 3名参加）
10.	31	誕生日会(兼BBQ)	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 5名参加）
11.	9	誕生日会	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 5名）
		誕生日会(おやつレク)	ウメユニット行事（入居者13名 職員 6名参加）
	18	おやつレクリエーション	ハスユニット行事（入居者 9名 職員 2名参加）
	23	誕生日会(おやつレク)	モモユニット行事（入居者 9名 職員 3名参加）
12.	11	誕生日会	ウメユニット行事（入居者 9名 職員 4名参加）
	17	誕生日会(兼インスタント食品会)	ダリアユニット行事（入居者10名 職員 3名参加）
	17	誕生日会(兼インスタント食品会)	サザンカユニット行事（入居者10名 職員 2名参加）
	19	誕生日会(兼パフェ)	ハスユニット行事（入居者 9名 職員 2名参加）
	27	誕生日会(兼アニマルカフェ)	ヒマワリユニット行事（入居者 9名 職員 5名参加）
5.	1.	誕生日会(兼ぜんざい)	ハスユニット行事（入居者 9名 職員 2名参加）
	22	誕生日会	ウメユニット行事（入居者 9名 職員 4名参加）
2.	12	誕生日会(兼おでん)	ハスユニット行事（入居者10名 職員 3名参加）
	13	誕生日会	ウメユニット行事（入居者 9名 職員 2名参加）
	20	誕生日会(兼バレンタイン)	ヒマワリユニット行事（入居者10名 職員 4名参加）
3.	8	誕生日会	ウメユニット行事（入居者 9名 職員 2名参加）
	8	誕生日会(兼エビ焼き)	アジサイユニット行事（入居者 9名 職員 3名参加）
	19	誕生日会	ダリアユニット行事（入居者10名 職員 3名参加）
	19	誕生日会	サザンカユニット行事(入居者10名 職員 2名参加)
	24	誕生日会(兼焼肉パーティ)	ウメユニット行事（入居者10名 職員10名参加）
	25	誕生日会	バラユニット行事（入居者10名 職員 3名参加）
	27	お花見会(兼誕生日会)	モモユニット行事(入居者 8名 職員 6名参加)
	29	お花見会(兼誕生日会)	ハスユニット行事（入居者 9名 職員 4名参加）
	29	お花見会(兼誕生日会)	ヒマワリユニット行事（入居者 8名 職員 6名参加）

令和4年度

職員研修実施状況

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	講 師 名
令和		(事業所研修)	
4	4. 1	第1回 倫理・法令順守(理念)研修	職員 25名参加 馬場宏知施設長
	4. 27	第2回 排泄支援研修	職員 7名参加 王子ネピア 田中英里香
	5. 19	第3回 排泄支援研修	職員 23名参加 王子ネピア 田中英里香
	24		職員 20名参加 王子ネピア 田中英里香
	31		職員 14名参加 王子ネピア 田中英里香
	6. 13	第4回 感染症予防研修	職員 23名参加 山下看護師
	7. 11	第5回 リフト研修	職員 11名参加 ウエルネット(業者)
	9. 21	第6回 身体拘束・虐待防止研修	職員 22名参加 山本看護主任・真杉リーダー
	27		職員 18名参加 山本看護主任・真杉リーダー
	30		職員 17名参加 山本看護主任・真杉リーダー
	10. 10	第7回事故リスクマネジメント研修(書面研修)	職員全員 事故・リスクマネジメント委員会
	10. 10	第8回食中毒予防研修	職員 20名参加 渡邊管理栄養士
	10. 26	第9回看取り研修	職員 12名参加 北野指導課長・上野看護師長
	11. 15	第10回口腔ケア研修	職員 12名参加 岩岡の郷診療所 奥本歯科医
	2. 18	第11回褥瘡予防研修(書面研修)	職員 60名参加 感染症予防委員会
	21	第11回身体拘束・虐待防止研修	職員 23名参加 近藤副主任介護員
	22		職員 15名参加 近藤副主任介護員
	25		職員 18名参加 近藤副主任介護員
	3. 6	第11回排泄ケア研修	職員 15名参加 王子ネピア 田中英里香
	13		職員 14名参加 王子ネピア 田中英里香
	15		職員 14名参加 王子ネピア 田中英里香

2 施設外研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	実 施 場 所
令和			
4	4. 30	令和4年度社会福祉主事資格認定通信課程	職員 1名参加 中央福祉学院
	5. 31	神戸市認知症介護実践研修(実践者研修)	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	6. 9	バリアフリー展	職員 2名参加 インテックス大阪
	6. 21	ユニットリーダー研修実地研修	職員 1名参加 特別養護老人ホーム グリーンハウス
	7. 1	兵庫県認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	8. 2	第2回神戸市認知症介護実践者研修	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	10. 13	介護テクノロジー体験会&プチセミナー	職員 2名参加 健康ライフプラザ5階
	14	介護テクノロジー体験会&プチセミナー	職員 3名参加 健康ライフプラザ5階
	22	令和4年度 IZUHEI FOOD FAIR	職員 1名参加 アクリエひめじ
	29	医療介護関係者の動画研修	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	30	災害対策研修「BCP」の作成と平時の活動	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	31	介護支援専門員等への自殺予防研修	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	11. 9	ノーリフトケアコーディネーター養成講座(アドバンス)	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	9	神戸市外国人介護職員受入 支援セミナー	職員 3名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	10	医療介護関係者の動画研修	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	13	C-1グランプリ事例コンテスト	職員 3名参加 兵庫県福祉センター
	25	神戸市若年性認知症デイサービス職員研修	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	30	栄養士会研修	職員 1名参加 あすてっぶKOBE
	12. 7	介護職員等によるたんの吸引等研修事業 指導者講習会	職員 1名参加 兵庫県看護協会会館
	7	神戸市認定調査員新規研修	職員 1名参加 中央文化センター
	8	第1期ユニットケア研修	職員 2名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	15	相談員会 第1回研修会	職員 3名参加 神戸市産業振興センター
	5. 2. 8	外国人介護人材の雇用あれこれ Q&A座談会	職員 1名参加 楠公会館
	15	第2期ユニットケア研修	職員 1名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)
	15	介護職対象口腔ケア研修	職員 5名参加 櫻ホーム西神(ZOOM)

各委員会開催状況

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
令和		1 ユニットリーダー会議
4.	4. 4	*幹部会議の報告 人事考課について 事故報告書書式変更について
	5. 6	*掛布団入替時期について 管理宿直について 実習生受入予定について
	6. 3	*職員健康診断について 上野師長より 緒方主任介護員より
	7. 4	*夏祭りについて 兵庫大学実習生について 身だしなみについて 申し送りについて
	8. 4	*集団体操について マニュアル更新の進捗について
	9. 5	*各委員会からマニュアル改訂について
	10. 6	*喫煙について 不適切ケアアンケートについて 食品の差し入れについて
	11. 7	*体調管理について(第8波) 第三者評価について 検食について
	12. 5	*コロナ感染拡大防止のため中止
5.	1. 5	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 6	*ノーリフトケアについて リースタオル廃止について 内部点検について
	3. 6	*ICT導入検討について 記録漏れについて
令和		2 【介護主任・副主任会議】
4.	4. 21	*管理宿直について 人事考課面談スケジュールについて 各フロアから報告
	5. 18	*人事考課面談の進捗 RR-1グランプリについて 実習生について
	6. 16	*勤怠管理について 議事録の管理の徹底 各副主任から
	7. 20	*第三者評価前説明会について ユニット通信・行事について
	8. 24	*コロナ感染拡大防止のため中止
	9. 21	*マニュアル改訂について 人事考課面談進捗について
	10. 26	*第三者評価(自己点検)について C-1グランプリについて
	11. 30	*コロナ感染拡大防止のため中止
	12. 28	*コロナ感染拡大防止のため中止
5.	1. 11	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 15	*来年度に向けて 人事考課について
	3. 22	*4月の体制について 時間外申請について
令和		3 【幹部会議】
4.	4. 4	*事業計画 稼働率について 診療所開設について
	5. 6	*各種加算について 接遇の向上 計画的な4回目コロナワクチン接種について
	6. 3	*各種加算の進捗状況と今後の予定 健康診断スケジュールについて
	7. 4	*現状稼働率 嗜好調査・満足調査について 接遇の向上
	8. 4	*現状稼働率 委員会活動について RR-1グランプリについて
	9. 5	*新型コロナウイルス発生検証委員会について イベント食・栄養補助食品について
	10. 6	*現状稼働率について 各種加算について 委員会活動について
	11. 7	*現状稼働率について 委員会活動について 職員意向調査について
	12. 5	*コロナ感染拡大防止のため中止
5.	1. 5	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 6	*現状稼働率について 各種加算について 委員会活動について
	3. 6	*現状稼働率について 各種加算について 委員会活動について
令和		4 【デイサービス会議】
4.	4. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認
	5. 3	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認
	6. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認
	7. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	8. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	9. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	10. 4	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	11. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	12. 5	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
5.	1. 5	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	2. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	3. 2	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
令和		5 【医療サービス会議】
4.	4. 25	*診療所開設に伴う業務について 多職種連携について リハビリに関して
	5. 26	*診療所開設による業務調整について 事務所から医師へ依頼
	6. 28	*診療所における業務について 入所者の健診予定 職員の診察について
	7. 25	*診療所における業務について 業務の見直しについて
	8. 22	*診療所における業務について 現状の課題 (受診・往診)
	9. 26	*診療所における業務について 現状の課題 (受診・往診)
	10. 24	*診療所における業務について 看護業務の効率化
	11. 28	*診療所における業務について コロナ対応について
	12. 26	*診療所における業務について コロナ対応について
5.	1. 23	*診療所における業務について 現状の課題
	2. 27	*診療所における業務について 業務の見直しについて
	3. 27	*診療所における業務について 業務の見直しについて
令和		6 【事務会議】
4.	4. 25	*決算(予算)について 収入確保と経費削減 HPリニューアル
	5. 25	*会計監査人監査の講評 介護給付費の請求チェック 受動喫煙防止
	6. 27	*稼働率・月次状況 不在者投票 HPリニューアルに伴う役割分担
令和		7 【口腔ケア会議】
4.	4. 26	*今後の日程について 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	5. 10	*アンケートに関して 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	6. 21	*アンケートに関して 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	7. 12	*施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	8. 9	*マニュアル改訂について 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	9. 13	*11月の研修について 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	10. 11	*施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	11. 8	*施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	12. 13	*コロナ感染拡大防止のため中止
5.	1. 10	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 14	*施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	3. 14	*施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
令和		8 【厨房会議】
4.	4. 25	*日本食研さんの試食 厨房の課題
	5. 20	*配膳方法 厨房の今後(実習生、監事監査)
	6. 23	*厨房としての取り組み(改善、効率)
	7. 7	*エフレボさんの意見 厨房の課題
	8. 22	*エフレボさんの意見 厨房の課題
	9. 19	*コロナ感染拡大防止のため中止
	10. 25	*エフレボ産の食材を取り入れて今後どうしていくか 厨房の課題
	11. 28	*コロナ感染拡大防止のため中止
	12. 26	*残食調査の結果から 厨房の課題
5.	1. 23	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 27	*残食調査の結果から 厨房の課題
	3. 27	*ヒヤリハット、事故報告の検討 エフレボに関して
令和		9 労働安全衛生委員会
4.	4. 27	*定例年間議題 役割分担 安全衛生に関する基本知識 健康診断の実施について
	5. 13	*メンタルヘルスケア 喫煙の推進
	6. 22	*食中毒予防 ハラスメント対策
	7. 27	*熱中症予防 ストレスチェックの活用
	8. 24	*コロナ感染拡大防止のため中止
	9. 28	*長時間労働の防止 ワークライフバランス 腰痛対策 生活習慣病の予防
	10. 26	*睡眠、休養について 通勤時の災害防止
	11. 23	*コロナ感染拡大防止のため中止
	12. 28	*コロナ感染拡大防止のため中止
5.	1. 25	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 22	*交通事故予防について アルコールとの上手な付き合い方

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
5.	3. 21	*花粉症対策 新型コロナ感染症経緯
令和		10 身体拘束・虐待防止委員会
4.	4. 18	*身体拘束・虐待防止委員会の主旨と目的の共有について
	5. 16	*令和4年度の活動スケジュール 身体拘束適正化に対する指針を理解
	6. 16	*身だしなみアンケート実施
	6. 20	*不適切ケアの事例についての対応 身体拘束適正化に対する指針を理解
	7. 18	*9月の研修について 不適切ケアの事例報告 マニュアル改訂について
	8. 15	*コロナ感染拡大防止の為に中止
	9. 19	*9月の研修内容の確認 不適切ケアの事例報告
	9. 21	*不適切ケアアンケート実施
	10. 17	*身体拘束・虐待防止研修の振り返り 不適切ケアアンケート結果について
	11. 21	*コロナ感染拡大防止のため中止
	12. 19	*2月の身体拘束・虐待防止研修(2回目)について
5.	1. 16	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 20	*コロナ感染中の扉の施錠について 虐待の通報手順について
	3. 20	*2月の研修の振り返り 高齢者虐待防止マニュアル改訂について
令和		11 事故・リスクマネジメント委員会
4.	4. 13	*事故・ヒヤリハット分析結果 注意喚起内容について 苦情の報告について
	5. 11	*事故・ヒヤリハット分析結果 報告書作成の変更後の問題点
	6. 8	*事故・ヒヤリハット分析結果 苦情の報告について
	7. 13	*事故・ヒヤリハット分析結果 8月研修について(危険予知トレーニング)
	8. 10	*事故・ヒヤリハット分析結果 注意喚起内容について
	9. 14	*事故・ヒヤリハット分析結果 苦情報告1件 ファイルイング当番について
	10. 12	*事故・ヒヤリハット分析結果 12月研修について
	11. 9	*事故・ヒヤリハット分析結果 苦情報告 1件
	12. 14	*事故・ヒヤリハット分析結果 12月の研修の日程変更
5.	1. 11	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 8	*事故・ヒヤリハット分析結果 苦情報告 1件
	3. 8	*事故・ヒヤリハット分析結果 今年度の振り返り
令和		12 介護サービス委員会
4.	4. 20	*年間計画について 今後の取り組み(排泄・口腔・ノーリフト・ユニットケア)
	5. 12	*王子ネピア使用テストの依頼について
	5. 18	*排泄・口腔ケア・ノーリフト・ユニットケアの取り組み状況
	6. 15	*口腔ケアが困難な方のリストアップ ノーリフトケア研修について
	7. 20	*口腔ケアが困難な方のリストアップ ノーリフトケア研修について
	8. 17	*コロナ感染拡大防止のため中止
	9. 21	*マニュアル改訂について エプロン購入について
	10. 8	*アンケートご協力をお願い
	10. 19	*テーナ使用の報告 口腔ケア研修について 福祉用具管理について
	11. 15	*コロナ感染拡大防止のため中止
	12. 21	*今後の取り組み(排泄・口腔ケア・ノーリフト・ユニットケア)
5.	1. 18	*コロナ感染拡大防止のため中止
	2. 15	*排泄・口腔マニュアル改訂に向けて 排泄予測デバイスについて
	2. 16	*排泄予測デバイストライアル
	3. 15	*1年間の振り返り、今後の取り組みについて
令和		13 食事検討委員会
4.	4. 22	*1年間の活動スケジュール 嗜好調査の実施について
	5. 27	*5月.6月.7月の献立内容 食事に関してスタッフより気になること
	6. 24	*嗜好調査の確認 6月.7月.8月の献立内容
	7. 22	*7月・8月・9月の献立内容 食事の代替え対応について
	8. 26	*コロナ感染拡大防止のため中止
	9. 23	*9月・10月の献立内容 家族の持ち込みについて 出張喫茶について
	10. 10	*食品の差し入れについて
	19	*出張喫茶の実施について
	10. 28	*10月・11月の献立内容 配膳方法について

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
4 . 11 . 25		*コロナ感染拡大防止のため中止
	12 . 16	*11月・12月の振り返り 1月の献立について 12/25パイキングについて
5 . 1 . 13		*コロナ感染拡大防止のため中止
	2 . 24	*1月・2月の振り返り 3月の献立について 3月栄養補助食品に関する講和
	3 . 24	*3月の献立の振り返り 麺の日の粥について
令和		14 感染症予防委員会
4 . 4 . 11		*感染症予防委員会の開催目的の共有、年間計画の作成
	5 . 9	*研修会開催の事前準備 感染予防対策に必要な物品
	6 . 13	*感染予防対策研修 ガウンテクニック・手袋着脱方法
	7 . 11	*研修の振り返り 熱中症対策について
	8 . 8	*コロナ感染症予防対策について
	9 . 12	*インフルエンザ予防対策について
	10 . 17	*食中毒予防研修
	11 . 14	*10月に開催した研修の振り返り 感染症の疑いのある利用者の対応について
	12 . 12	*コロナウイルス感染症発生時の課題 血液感染症予防対策について
5 . 1 . 16		*コロナ感染拡大防止のため中止
	2 . 13	*褥瘡予防研修について 創傷処置対応について
	3 . 13	*褥瘡予防研修の振り返り 令和5年度の年間計画について
令和		15 地域広報・行事委員会 安全委員会
4 . 4 . 28		*令和4年度行事について 機関紙、ホームページ、地域清掃について
	5 . 26	*夏祭り行事について ホームページについて
	6 . 23	*夏祭り日程について
	7 . 28	*夏祭りについて 敬老会について
	8 . 25	*コロナ感染拡大防止のため中止
	9 . 22	*敬老会について 機関紙について
	10 . 27	*避難訓練について 機関紙について ブログ更新について
	11 . 24	*コロナ感染拡大防止のため中止
	12 . 8	*年末年始の行事について 避難訓練について ブログ更新について
5 . 1 . 26		*節分について 雛祭りについて
	2 . 23	*節分の振り返り 機関紙の進捗について
	3 . 23	*機関紙の進捗について
令和		16 訓練計画
4 . 6 . 23		*第1回消防避難訓練（日勤帯想定）
5 . 3 . 30		*第2回消防避難訓練（夜間帯想定）
令和		17 入居検討委員会
4 . 4 . 21		*入所申し込み者の判定 入所対象者について 対象者の入居日程調整
	5 . 23	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	6 . 3	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	7 . 4	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	8 . 1	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	9 . 1	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	10 . 5	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	11 . 1	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	12 . 1	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
5 . 1 . 5		*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	2 . 1	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
	3 . 1	*入所申し込み者の判定 入所対象者について 特例入居者介護2の方について
令和		18 チューターミーティング
4 . 4 . 28		*チューター・新人職員と意見交換 指導の進捗確認
	5 . 28	*チューター・新人職員と意見交換 指導の進捗確認
	6 . 28	*チューター・新人職員と意見交換 指導の進捗確認
	7 . 28	*チューター・新人職員と意見交換 指導の進捗確認
	8 . 28	*コロナ感染拡大防止のため中止
	9 . 28	*チューター・新人職員と意見交換 指導の進捗確認

開 年	催 月	日	活 動	内 容
4.	10.	28	*チューター・新人職員と意見交換	指導の進捗確認
	11.	28	*コロナ感染拡大防止のため中止	
	12.	28	*コロナ感染拡大防止のため中止	
5.	1.	28	*チューター・新人職員と意見交換	指導の進捗確認
	2.	28	*チューター・新人職員と意見交換	指導の進捗確認
	3.	28	*チューター・新人職員と意見交換	指導の進捗確認
令和			19 保険請求復命会議	
4.	4.	7	保険請求の確認と次月の活動について	
	5.	9	保険請求の確認と次月の活動について	
	6.	9	保険請求の確認と次月の活動について	
	7.	8	保険請求の確認と次月の活動について	
	8.	9	保険請求の確認と次月の活動について	
	9.	8	保険請求の確認と次月の活動について	
	10.	7	保険請求の確認と次月の活動について	
	11.	8	保険請求の確認と次月の活動について	
	12.	8	保険請求の確認と次月の活動について	
5.	1.	9	保険請求の確認と次月の活動について	
	2.	9	保険請求の確認と次月の活動について	
	3.	8	保険請求の確認と次月の活動について	
令和			20 職員会議	
4.	4.	1	*辞令交付式	
	4.	12	*令和4年度事業計画説会	
5.	1.	4	*新年交礼会	
令和			21 家族会	
4.	6.	14	*参院選不在者投票について 第4回コロナウイルスワクチン接種について	
令和			22 運営推進会議	
4.	4.	21	*診療所の開設について 新型コロナウイルス感染症の経緯について	
	6.	16	*活動状況について 職員の動向について 事故・苦情について	
	8.	18	*コロナ感染拡大防止のため中止	
	10.	20	*新型コロナウイルス感染経緯 活動状況について	
	12.	15	*コロナ感染拡大防止のため中止	
5.	2.	16	*新型コロナウイルス感染経緯 活動状況について	

稼 年 月 日	動	摘 要
令和		
4. 4. 10		月が丘パトロール (職員 1名参加)
		ふれあいのまちづくり協議会 (職員 1名参加)
		24 月が丘パトロール (職員 1名参加)
5. 8		ふれあいのまちづくり協議会 (職員 2名参加)
		13 月が丘町つくり協議会クリーン作戦 (職員 3名参加)
		14 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 5名参加)
		22 月が丘パトロール (職員 1名参加)
6. 17		櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 5名参加)
6 20		ふれあい文化祭・バザー (職員 2名参加)
7. 10		月が丘パトロール (職員 1名参加)
		15 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 5名参加)
8. 19		櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 4名参加)
		28 月が丘パトロール (職員 1名参加)
9. 11		月が丘パトロール (職員 1名参加)
		11 ふれあいのまちづくり協議会 (職員 2名参加)
		16 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 5名参加)
10. 11		月が丘パトロール (職員 1名参加)
		9 ふれあいのまちづくり協議会 (職員 2名参加)
		21 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 4名参加)
		23 防災訓練 (職員 4名参加)
		31 スマイルコンサート (職員 3名参加)
11. 16		月が丘声掛け訓練 (職員 2名参加)
		13 ふれあいのまちづくり協議会 (職員 2名参加)
		18 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 4名参加)
		16 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 5名参加)
		25 月が丘パトロール (職員 2名参加)
5. 1. 8		月が丘パトロール (職員 1名参加)
		15 ふれあいのまちづくり協議会 (職員 1名参加)
		20 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 4名参加)
		22 月が丘パトロール (職員 1名参加)
2. 12		ふれあいのまちづくり協議会 (職員 2名参加)
		17 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 2名参加)
3. 12		ふれあいのまちづくり協議会 (職員 2名参加)
		17 櫻ホーム西神周辺清掃活動 (職員 5名参加)

令和4年度

見学・実習等受入れ状況

受入 年月日	摘 要
令和	【実習】
4.5.28	神戸学院大学総合リハビリテーション学部社会リハビリテーション学科 「ソーシャルワーク入門実習」
6.6	社会リハビリテーション学科 2回生 森岡美貴
6.11	
8.10	兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 「ソーシャルワーク実習Ⅰ」
8.12	兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 1回生 為木媛美
	1回生 徳田明優
	1回生 友定沙也加
	1回生 吉留智香子
8.10	兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 「ソーシャルワーク実習Ⅱ」
～8.24	兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 2回生 田中沙季
8.10	兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 「相談援助実習」
～9.10	兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 3回生 辛川浩嗣
	3回生 藤本美海
9.5	兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科 「臨地実習」
～9.9	兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科 3回生 産屋敷花恋
	3回生 白井佳奈
9.19	兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科 「臨地実習」
～9.23	兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科 3回生 岩野妃奈
	3回生 徳嶺有香

令和4年度 感染症罹患状況

施設名 櫻ホーム西神

分類	感染症	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計				
		利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員			
利用者及び職員にも感染が起り、媒介者となりうる	1 インフルエンザ																										0名	0名		
	2 感染性胃腸炎 (ノロウイルス等)																											0名	0名	
	3 腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)																											0名	0名	
	4 痲疹型疥癬																											0名	0名	
	5 マイコプラズマ感染症																											0名	0名	
	6 結核																													
	7 新型コロナウイルス																					2名	3名	30名	19名			32名	22名	
抵抗力を健康に保つことが難しく感染は	8 メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (MRSA)																										0名	0名		
	9 緑膿菌感染症																											0名	0名	
血液、体液を媒介とし	10 肝炎 (B型)																											0名	0名	
	11 肝炎 (C型)																											0名	0名	
	12 HIV感染症																											0名	0名	
その他の感染症	13 クロストリジウム・ディフィシル腸炎																											0名	0名	
	14 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																											0名	0名	
	15																											0名	0名	
	16																											0名	0名	
	17																											0名	0名	
	18																											0名	0名	
	19																											0名	0名	
20																											0名	0名		
合計		0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名	3名	30名	19名	0名	0名	32名	22名			

令和4年度

事業報告書

櫻ホーム西神診療所

〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

本年度は、当法人の基本理念に基づき本事業を実施した。

1 事業目的

地域貢献及び地域に根差した施設となることを目的に常勤医師を配置し、保険医療機関として地域・予防医療に取り組んだ。また、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神（空床利用ショート含）及び地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神入居者、認知症対応型デイサービスセンターさくらさくの利用者に対し、必要な診療を行うとともに、日々の健康管理により、健康の維持、増進を図った。

2 事業の実施主体

社会福祉法人桜谷福社会

3 事業所名及び所在地等

- ① 事業名称 櫻ホーム西神診療所
- ② 事業所在地 兵庫県神戸市西区月が丘1丁目41番12号
- ③ 診療科 内科、リハビリテーション科
- ④ 事業連絡先 078-995-7145

4 診療日及び診療時間

診療時間	日	月	火	水	木	金	土
午前 10:00～12:00		○		○	○	○	
午後 13:00～15:00		○	○	○	○	○	

5 地域医療の展開

地域の頼れる健康相談所となるよう、健康講座の開催、リハビリ教室、地域の予防医学に取り組むことを目指したが、健康講座とリハビリ教室の開催計画を明確に作成することができなかったことにより、地域貢献事業の活性化につなげることができなかった。

次年度は、明確な健康講座等の開催計画を作成し、計画に基づき、地域貢献事業の活性化に努めたい。

6 施設入居者及び利用者の健康管理

入居者及び利用者の健康状態を管理し、一人一人が快適な生活を送ることができるよう、必要な指導を行ったが、入居者が入院につながるケースが多かった。また、感染症対策については、施設内で3回【感染拡大期間：令和4年8月13日～8月29日、陽性者：入所者10名・職員9名、感染拡大期間：令和4年11月21日～12月5日、陽性者：入所者7名・職員5名、感染拡大期間：令和4年12月27日～令和5年1月25日、陽性者：入所者20名・職員8名】の新型コロナウイルスがクラスター化したが、適切な感染症対策を講じることで、施設内に蔓延することなく、新型コロナウイルスの陽性者数を最小限に抑えることができた。

次年度は、診療所として可能な治療を積極的に行うことで、入居者の適正な健康管理に努める。

7 施設職員の健康管理

施設職員の健康維持を図るため、日頃の健康指導及び必要な診察を行うことを目標に掲げたが、職員の新型コロナウイルス対応及び阪神地区事業所職員のインフルエンザ予防接種を実施するだけの最低限の対応しかできなかった。

次年度は、施設職員の健康管理及び安全衛生管理のうえにも積極的に職員に対しても診療業務に努めたい。

8 安定した事業運営への取組み

予算で設定された収入の確保について、入居者及び利用者への治療と施設職員の診察に積極的に取り組むことができなかった結果、予算収入から大幅な減収となった。

次年度は、診療所としての機能を適正に活用すること及び毎月目標数を明確にすることで、安定した事業運営を継続させるために必要な収入の確保に努めたい。